

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公表番号】特表2010-538054(P2010-538054A)

【公表日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-049

【出願番号】特願2010-523589(P2010-523589)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/74 B

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月6日(2011.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

胸水貯留または気胸の処置において使用するためのリボテイコ酸T。

【請求項2】

さらなる胸膜癒着剤と組み合わせて投与される、請求項1記載の使用のためのリボテイコ酸T。

【請求項3】

胸水貯留または気胸の処置のための薬剤の製造におけるリボテイコ酸Tの使用。

【請求項4】

リボテイコ酸Tがさらなる胸膜癒着剤と組み合わせて投与される、請求項3記載のリボテイコ酸Tの使用。

【請求項5】

リボテイコ酸Tを含む薬学的組成物と、該組成物が胸膜癒着剤として使用するものであることを示す説明書とを含むキット。

【請求項6】

リボテイコ酸Tを含む、胸水貯留または気胸を処置するための薬学的組成物。

【請求項7】

哺乳動物に使用するための、請求項6記載の薬学的組成物。

【請求項8】

ヒトに使用するための、請求項7記載の薬学的組成物。

【請求項9】

さらなる胸膜癒着剤と組み合わせて使用するための、請求項6～8のいずれか一項記載の薬学的組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

他に定義されない限り、本明細書において使用される全ての技術用語および科学用語が、本発明の領域の当業者によって一般的に理解される意味を有する。

[請求項1001]

胸水貯留または気胸の処置において使用するためのリボテイコ酸T。

[請求項1002]

さらなる胸膜癒着剤と組み合わせて投与される、請求項1001記載の使用のためのリボテイコ酸T。

[請求項1003]

胸水貯留または気胸の処置のための薬剤の製造におけるリボテイコ酸Tの使用。

[請求項1004]

リボテイコ酸Tがさらなる胸膜癒着剤と組み合わせて投与される、請求項1003記載のリボテイコ酸Tの使用。

[請求項1005]

リボテイコ酸Tを含む薬学的組成物と、該組成物が胸膜癒着剤として使用するためのものであることを示す説明書とを含むキット。

[請求項1006]

リボテイコ酸Tの対象への投与を含む、胸水貯留または気胸を処置する方法。

[請求項1007]

対象が哺乳動物である、請求項1006記載の方法。

[請求項1008]

対象がヒトである、請求項1007記載の方法。

[請求項1009]

リボテイコ酸Tがさらなる胸膜癒着剤と組み合わせて投与される、請求項1006～1008のいずれか一項記載の方法。

[請求項1010]

薬学的組成物の形態の、請求項1001記載の使用のためのリボテイコ酸T。